

農業技術革新・連携フォーラム2025 オンライン 開催案内

2025年1月

我が国における人口減少に伴う労働力不足は深刻な課題となっており、これからの日本農業の安定的かつ持続的発展には生産性の向上及び流通改革等が必須である。このような状況を踏まえ、農業・食品分野における最先端の研究成果を持つ「農研機構」、時代の潮流に先んじて経営発展を目指す「農業法人」、日本経済の自律的な発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする「日本経済団体連合会」が、相互に理解を深め連携することにより、農業生産の現場における更なる技術革新の実現を通じて、日本農業の安定的かつ持続的発展及び国民生活の向上に貢献するため、本フォーラムを開催する。

主催・協力

主催：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、日本経済団体連合会、日本農業法人協会
協力：日本政策金融公庫、農業経営支援連絡協議会、株式会社クニエ、日本能率協会

参集範囲

農業生産者、関係組織、民間事業者、研究機関等

日程

開催日程：2025年2月3日（月）12:00～3月21日（金）17:00

オンライン会場・参加申込

<https://rf2025.gakkai.online>

上記URLの「新規登録はこちら」から参加者（ユーザー）登録を手続きのうえご入場ください。
参加費は無料です。会場は、（株）AGRI SMILEの「ONLINE CONF」を利用します。
ユーザー登録手順マニュアル：<http://tinyurl.com/yoasxoh>
システム操作に関するお問合せ先：support@gakkai.online



プログラム

(1)～(3)オンデマンド配信、(4)オンタイム・オンデマンド配信混在

- 主催者挨拶 久間和生（農研機構 理事長）
磯崎功典（日本経済団体連合会 農業活性化委員長）
齋藤一志（日本農業法人協会 会長）
- 基調講演 「日本農業の展開と技術革新」
ファーム・マネジメント・サポート 代表 梅本 雅 様
- 展示会 スマート農業、生産・基礎技術、資材機材、経営管理等 31件
- 分科会 オンタイム・オンデマンド配信（主催者）
2月5日(水)14:00～ 六次産業化セミナー（法人協会）
2月12日(水)13:30～ スマート農業技術研究の成果等の紹介（生研支援センター）
調整中 農業の安全教育の現状と課題（農研機構 システム安全工学研究領域）
調整中 農業データ連携基盤WAGRI（農研機構 WAGRI推進室）

お問合せ先

公益社団法人日本農業法人協会 経営支援課

E-mail keiei-sien@hojin.or.jp

TEL: 03-6268-9500

オンライン技術展示出展者一覧

番号	出展者名	展示タイトル
1	農研機構	スマート農業導入による収益性向上を見える化 経営判断をサポート
2	農研機構	農機搭載型土壌センサー データ駆動型土壌メンテナンスシステムのためのセンシング技術
3	農研機構	農地の日最低気温をピンポイントに推定
4	農研機構	ドローンデータの補正による 新たな水稻生育診断・追肥量算出システム
5	農研機構	空撮画像のAI解析技術を活用してほ場単位のスイートコーン収穫適期を予測 ー開花前後の1度の空撮で収穫適期予測が可能ー
6	農研機構	デジタルで日本の農業を応援します！ 農業データ連携基盤WAGRI（ワグリ）
7	農研機構	気象データに基づく精密生育予測で露地野菜生産の経営管理をサポート ー多様な露地野菜に対応したNARO生育・収穫予測ツールー
8	農研機構	果菜類やイチゴの収量と糖度の予測を実現 NARO生育・収量予測ツールの機能追加のご紹介
9	農研機構	将来のスマート化に対応した果樹の省力樹形
10	農研機構	みどりの食料システムの推進に貢献する画期的果樹新品種 リンゴ「紅つるぎ」
11	農研機構	みどりの食料システムの推進に貢献する画期的果樹新品種 レモン「璃の香」
12	農研機構	新時代のサツマイモ新品種 -「あまはづき」「ゆきこまち」「ひめあずま」-
13	農研機構	ジャパニーズウイスキー向け大麦新品種 ー醸造用大麦新品種「ゆきはな六条」「こはく雪」ー
14	農研機構	メロン「アールスアポロン」シリーズ ～世界初の退緑黄化病抵抗性メロン品種～
15	農研機構	有機・減農薬栽培に適し、収量品質に優れる茶品種 「せいめい」「かなえまる」「さえあかり」
16	農研機構	食品の品質を分析する官能評価法 ー五感と言葉を用いた「おいしさ」の可視化ー
17	農研機構	ディスク式高速ー工程播種法の開発 ～大豆の安定生産と高能率作業に貢献します～
18	農研機構	生産性を向上するダイズ多収性品種「そらシリーズ」
19	農研機構	温暖化抑止に貢献するダイズ根粒共生系
20	農研機構	施設栽培で使える超音波の力を利用した世界初のコナジラミ類防除ロボット
21	農研機構	堆肥化過程で発生するアンモニアの肥料利用技術 ～臭気を肥料として利用できます～
22	農研機構	有機米の生産拡大に向けた技術 ～超省力除草、有機質肥料の施用アプリなど～
23	生研支援センター	スマート農機の中山間地域への導入にあたっての課題や研究開発の方向性等を取りまとめた研究開発構想についてご紹介
24	株式会社NEXYZ.	施設園芸に必要な農業用ハウスやハウス内設備を初期費用をかけず一律の月額料金だけで導入できるサービスです。
25	株式会社日本包装リース	包装や食品加工に関する課題解決
26	J A三井リース株式会社	農業お役立ち総合情報Webサイト「あぐりサポートねっと」、その他当社ソリューションについてご紹介
27	農林水産省 技術政策室	スマート農業技術活用促進法の御紹介
28	株式会社クボタ	クボタしおれ検知式自動灌水制御システム「Hamirus」は、植物のしおれ状態をAIで見える化し、最適な自動灌水制御を可能にします。
29	有人宇宙システム株式会社	スマホで農業支援「リモファーム」、衛星データと気象データを自動取得し、自宅でもリモートで稲作農地の生育状況を面的に把握できる農業支援アプリ
30	株式会社Root	AR（拡張現実）農作業補助アプリ「Agri-AR」について、その目的、開発経緯、現在の活用事例及び今後の展開について紹介
31	株式会社 堂島取引所	日本初！米穀指数先物市場「堂島コメ平均」